

近畿地整など

大阪湾岸道路西伸部

海上橋 予備設計案示す

架橋後の神戸港外観モデル

路を600m間隔、灘浜航路を520m間隔でまたぐ。

障を来さない高さに設定した。

【関西】神戸港のコンテナターミナルがある六甲アイランド、ポートアイラ

北(東灘区)一駒栄(長田区)の14・5kmを結び、

設計速度は時速80kmで6車線。全体事業費は約500億円で2016年に事

業化した。関西国際空港と阪神港(神戸港、大阪港)をバス道で結ぶ大阪湾岸道路

西伸部の整備について、近畿地方整備局と阪神高速道路会社は14日、海上に架かる橋の予備設計候補案を公表した。港湾との航路上に架かる海上橋は、候補案ど同タイプのものでは世界最

長級。大阪湾沿岸の物流円滑化を図るのが狙いで、今後1年程度で候補を絞り込む方針。

六甲アイランド間は、主塔を均等割りで配置する連続斜張橋と、2連の斜張橋で構成する単独斜張橋の2案。連続斜張橋では灘浜および新港航路を650m間隔でまことに寄港する新港第4突堤の規模を踏まえ、入出港に支

架橋後に神戸港外観モデル

和田岬間は、神戸西航路を480m間隔でまたぐ形で橋を架ける。候補案は1主塔でケーブルを配した1主塔斜張橋と、2主塔斜張橋の2案が提示された。2つの橋ともに景観や技術的に秀でた案1と、確実性の高い案2で比較する形を取る。

架橋後の航路高は、いずれも満潮時で灘浜航路が54・6m、新港航路が57m、神戸西航路が59・4mとしている。客船が主流としている。完成年度は未定だが、同規模の事業は完成まで10年程度かかるという。

候補案は技術検討委員会(委員長・藤野陽三横浜国立大学上席特別教授)が、コストや維持費を踏まえ選定した。今後1年間で1案に絞り詳細設計候補とする方針。道路は22日に着工する。完成年度は未定だが、同規模の事業は完成まで10年程度かかるという。

